

日本国際連合学会

2002年度(第4回)研究大会

日時：2002年5月25日(土)午前10時～午後5時半

26日(日)午前10時～午後6時半

会場：国際連合大学5階エリザベス・ローズ会議室

〒150-8304 東京都渋谷区神宮前 5-53-7 ☎03-5467-1259

大会プログラム

全体テーマ：「国際社会に対する新たな脅威と国連の対応」

第1日：5月25日(土)

◇ 第一セッション(午前10時～12時半)

テーマ：「国際社会に対する新たな脅威と国連の対応－国際法の視点」

座長：中央大学教授 横田 洋三

報告1：「国際法への文際的アプローチ－人権、歴史、安全保障を中心に」

東京大学教授 大沼 保昭

報告2：「国際社会に対する新たな脅威と日本の国連協力－総合的アプローチ」

中央大学教授 柳井 俊二

討論：国際基督教大学教授 高橋 一生

◇ 昼食(午後12時半～2時半)－理事会

◇ 第二セッション(午後2時半～5時)

テーマ：「国際社会に対する新たな脅威と国連の対応－国際政治学の視点」

座長：帝京大学教授 渡邊 昭夫

報告1：「テロリズムと国連、国際協力」 防衛大学校助教授 宮坂 直史

報告2：「対テロ戦争と国際政治－国連事務総長の動きを中心に」

大阪大学助教授 星野 俊也

討論1：青山学院大学講師 青井千由紀

討論2：日本大学教授 浦野 起央

◇ 総会(午後5時～5時半)

第2日：5月26日（日）

◇ 第三セッション（午前10時～12時半）

テーマ：「国際社会に対する新たな脅威と国連の対応－経済学の視点」

座長： 帝京大学教授 広野 良吉

報告1：「国際社会に対する新たな脅威と日本－人間の安全保障の観点から」

外務省国際社会協力部長 高橋 恒一

報告2：「国際社会に対する新たな脅威と国際経済」

国際協力銀行理事 河野 善彦

討論： みずほ総合研究所国際調査部長 平田 潤

◇ 昼食（午後12時半～2時半）－編集委員会

◇ 第四セッション（午後2時半～6時半）－国際シンポジウム（セッションは英語で行われます。通訳はつきません。）

テーマ：「国際社会に対する新たな脅威と国連の対応」

司会： 日本国際連合学会理事長 明石 康

パネリスト1： パリ大学教授 Brigitte STERN

パネリスト2： アメリカ国際連合協会政策研究部長 Jeffrey LAURENTI

パネリスト3： 一橋大学教授 大芝 亮

パネリスト4： 駐日エジプト大使 Mahmoud KAREM

パネリスト5： 中国現代国際関係研究所編集部主任 徐 国雄

◇ 懇親会（午後6時半～8時） 会場：国際連合大学2階レセプション・ホール

なお、ご出欠を同封の「参加申込書」にてファックスでご返事下さい。また、お近くに参加ご希望の方がおられましたら、「参加申込書」をコピーして申込むようにお誘い下さい。当日傍聴者（傍聴料2日で500円）として歓迎いたします。

追記： 第2日目午後の国際シンポジウムは、外務省のご協力を得て開催可能となりました。ご厚意あるご協力とご配慮に深く感謝申し上げます。なお、国際シンポジウムは一般に無料で公開されます。
